

令和3年度事業計画

近年、少子高齢化や核家族化の進展に伴い、生活様式や価値観が多様化するなか家族のかたちや変化し、住民同士のつながりや住み慣れた地域で生活を維持していく上で、数多くの問題が顕在化するなど、地域福祉のあり方が問われています。

そうした状況の中、昨年は、我が国をはじめ世界中の人々がこれまでに経験したことのない新型コロナウイルス感染拡大という脅威に見舞われた一年でもありました。

今まで当たり前だった私たちの日常生活までもが不安に脅かされ、東京オリンピック・パラリンピックも新型コロナウイルス感染拡大により一年延期となるなど、当福生市社会福祉協議会でも多くの事業やイベントが中止となってしまいました。

今なお、収束する気配が見られませんが、福生市社会福祉協議会では出来ないことを憂うのではなく、コロナ禍でも出来ることを探し、人への思いやり、人とのつながり、地域でのつながりを今一度しっかり見直し、困難な中でも市民一人ひとりが、心豊かに安心して生活できるよう支援体制の強化に努めて参ります。

なお、本年度の事業の重点項目は次のとおりです。

1 福生市地域福祉活動計画（ささえあいプランふっさ）の推進

本年度は、「第5期福生市地域福祉活動計画」（ささえあいプランふっさ）の初年度となります。基本理念である「すべての人が、住み慣れた地域の中で安心して明るく心健やかに暮らせる、人と人とのつながり・支えあいのあるまちづくり」を基に地域の幅広いネットワークを活かし、地域の力を高めることに繋がるよう、地域住民、行政、各種機関・団体等と連携・協働を深めながら、福生市が策定した「地域福祉計画」と一体的に地域福祉を推進していきます。

2 社協らしい事業の展開

これまで実施してきた指定管理を含め、各種事業について、市民・行政・各種団体等の負託に応え、地域福祉を推進する中核的団体として、より一層充実した事業運営に努めるとともに、社協としての基礎体力を高め、地域福祉推進の専門機関としての信頼を高めるための取り組みを推進して参ります。

また、新型コロナウイルス感染予防につきましては現在も取り組んでおりますが、今後も引き続き職員一同感染予防に努めます。

3 災害に備えた社協の体制強化

近年多発している自然災害に備え、地域の住民や各種機関・団体と連携して、小地域福祉活動など日常的な地域の支え合いの仕組みづくりを構築し、更に、福生市との「災害時におけるボランティア活動等に関する協定書」及び「災害時における避難行動要支援の搬送等の協力に関する協定書」に基づき、行政と協働して災害に備えた取り組みの強化に努めます。

また、災害時に本会による災害ボランティアセンターを迅速かつ適切に設置運営できるよう、平時からの実践的な研修や実地による訓練に取り組むことに努めます。

4 時代に対応した社協の体制づくり

財源確保が非常に厳しい状況下において、引き続き経営体制づくりの強化に努め、より効果的に事業を推進するための業務改善、組織の見直しを継続して検討・実施します。更に、社協職員としての資質の向上を図り、職員が専門性を発揮し、新たな事業の開発・実施に努めます。